

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1	(1)		①	知識			・みほ	2
			②	思考	○右記の理由のうち 1 つを書いている。 ○①でたかしさんを選んでも川の特徴を理解して答えている。（例：内側は近道となるので，川底につくほど浅くなければ，力いっぱい漕ぐと速く進む。）	3 3	○川のカーブの特徴をとらえて 2 つ理由を書いている。 ・外側は，流れが速い。（内側は，遅い。） ・外側の川底が，深い。（内側は，浅い。）	5
	(2)		③	思考	○ 1 問 1 点で採点 ・ 2 問正解は， 2 点 ・ 1 問正解は， 1 点	2 ～ 1	○ 3 問とも正解。 ・ ア：速く，急に，激しく，強く など ・ イ：けずる，くずす，こわす など ・ ウ：おし流す，運ぶ，流す など	3
	(3)		④	思考	○右記の理由を 1 つ書いている。 ○その他，天候の変化の遅れから，レースの日に雨になる等の予想を書いている。	3 2	○次の中から， 1 6 日・ 1 7 日の雨の影響で実施すると危ない理由を 2 つ書いている。 ・ 2 日間の雨で，流れが速くて危ない。（いかだが壊れるかもしれない。） （川に落ちた時，流されてしまう。） ・ 2 日間の雨で，水かさが増していて危ない。（もし落ちた時，おぼれてしまう。） ・ 2 日間の雨で，水が濁っていて危ない。（いろいろな物が流れていて危ない。）	5
	(4)		⑤	関心	○上流か下流かを選び，理由も書いているが，その流域の水の流れや地形の特徴に触れていない。 ・上流が，景色がよくておもしろそう。 ・下流の方が，みんなで漕げて楽しそう。 ○上流または下流のコースにだけ○を付けて，理由を書いていない。	3 1	○（上流のコース）を選んだ場合，理由として考えられるもの ・流れが速くておもしろい。 ・コースが複雑でおもしろい。 など ○（下流のコース）を選んだ場合，理由として考えられるもの ・川幅が広く，みんなで漕げて楽しい。 ・ゆるやかな流れを楽しむことができる。 ・流れがゆるやかでゆっくり応援できる。 ・大きな石やとがった石があまりないので危なくない。（安心して楽しめる）など	5
2	(1)	ア	⑥	知識	○酸素，二酸化炭素の増減のいずれかを書いている。 ・酸素が減ったから。 ・二酸化炭素が増えたから。 （酸素がなくなった，二酸化炭素だけになったなどは不可）	2	○空気が入れ替わらないところでは，物は燃えないことを書いている。 ・物が燃えるためには，新しい空気が必要だが，ふたをするとびんの外から入ってこないから。 ○酸素が減り，二酸化炭素が増えるため，物は燃えないことを書いている。	3
		イ	⑦	知識	○徐々に消えることを書いている。 ・消える。・だんだん消えていく。	1	○短時間に消えることを書いている。 ・すぐに消える。	3
	(2)		⑧	技能	○右記の中から 1 つだけ正しく書いている。 ※例えば， B と A を選んだ場合も 2 点， A と A を選んだ場合も 2 点とする。	2	○ 2 つとも正しく書いている。 ・燃やした後の酸素 C ・燃やした後の二酸化炭素 A	4
	(3)	ア	⑨	思考	○右記の中から 1 つだけ正しく書いている。 ・酸素，酸素 ・酸素，空欄 ・二酸化炭素，二酸化炭素 など	1	○ 2 つとも正しい順序で書いている。 ・酸素 ・二酸化炭素	3
		イ	⑩	技能	○▲の減少か■の増加の一方だけが表現されている。	3	○▲の減少と■の増加の両方が表現されている。 	5
	【授業改善の視点】 6 年生における問題解決能力育成の視点は，「推論」である。目に見えることをもとに目に見えないことを考察する活動を工夫することが重要である。ここでは，気体検知管による実験結果などをもとに，燃焼前後の空気の変化を粒子の図に表現し，説明する言語活動を工夫することにより，空気の質的変化についての見方や考え方を高めるようにする。							
	(4)		⑪	知識	○右記の中から 1 つ書いている。 （ 2 つでも 1 種類の場合は， 1 点とする）	1	○植物体の中から， 2 つ書いている。 ・紙（厚紙等） ・わりばし（木） など	3
	(5)		⑫	関心	○下記の方法などで，強制的に空気を送り込むなどの工夫を説明している。 ・うちわで扇ぐ。 ・息を吹きかける。	2	○次のような方法により，空気の出入りを起こすことを説明している。 ・ブロックを 1 ～ 2 枚はさず。	4

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
15点	(1)	ア	⑬	技能	○方法のみを書いている。 ・アルミニウム箔などで覆う。など	2	○目的と方法を書いている。 ・日光が当たらないように，アルミニウム箔などで覆う。	3
		イ	⑭	思考	○AまたはBの葉の一方のみについて書いている。	2	○AとBの両方の葉について書いている。 ・Aの葉のアルミニウム箔は，そのままにする。 ・Bの葉のアルミニウム箔は，取り去る。	5
	(2)		⑮	知識	○右記の中から1つだけ正しく書いている。 ○「ヨウ素」のみ書いている。	2 1	○2つとも正しく書いている。 ・（うすい）ヨウ素液 ・でんぷん	4
	(3)		⑯	関心	○根・茎・葉・花・実の部分の中から2つ書いている。 ○根・茎・葉・花・実の部分の中から1つ書いている。	2 ～ 1	○以下から3つの部分について書いている。 ・実がたくさんなり，大きくなること。 ・花がたくさん付くこと。 ・葉が大きくなり，数が増えること。 ・茎が太くなり，高くなること。 ・根がたくさん伸びること。 （＊根・茎・葉などの名称だけでも可。）	3
15点	(1)		⑰	技能	○右記の図のうち2つ正しくかいている。 ○右記の図のうち1つ正しくかいている。 ・図の塗り方は，授業での観察の様子に応じて判断する。	2 1	○㉑㉒㉓の3つとも正しくかいている。 	4
					【授業改善の視点】 観察前に，児童が予想した水の通り道を類型化し，観察の視点を明確にしておくことが必要である。また，観察に当たっては，白い花のハウセンカを用いたり，食紅の代わりに切り花用染色剤を使ったり，染めていないハウセンカと比較して観察したりするなどの工夫を行う。さらに，顕微鏡投影機で道管を拡大提示し，全員で観察結果を確認するようにする。			
	(2)		⑱	技能	○葉の付いたハウセンカの実験方法を図示している。  ○フラスコ等の水面や地面からの蒸発の影響を考慮していない。（フラスコごとかぶせるなど）	2 1	○対照実験の方法を具体的に図示している。  ・2つを比べている。 ・ビニル袋をかぶせる。など	3
			⑲	技能	○葉の付いたハウセンカの実験方法を文章で説明している。	2	○対照実験の方法を具体的に文章で説明している。 ・葉の付いたハウセンカと葉を取ったハウセンカにビニル袋をかぶせ，水滴の付き方を比べる。	3
	(3)		⑳	知識	○どちらか一方のみ正解	3	・水蒸気 ・蒸散	5
25点	(1)		㉑	思考	・「振れ幅」「身長」（重心）	2	・体重（重さ）	4
	(2)	ア	㉒	技能			○20g	5
		イ	㉓	技能	○右記の4つのうち，2つ～3つの要素が文中に書かれている。 （例） ・10往復する時間を計って，それを10で割って1往復する時間を求める。	3	○①に続けて，次の4つの要素が文中に書かれている。 ＊10往復の時間を計ること ＊3回計ること ＊10往復の平均値を求めること ＊1往復の時間を求めること ②一番高い（一瞬止まる）所から，ふりこのリズムに合わせて10往復する時間を計る。 ③3回計り，10往復する時間の平均を求める。 ④10往復する時間を10で割ると1往復の時間が分かる。	5
		ウ	㉔	技能			ふりこC	5
	(3)		㉕	思考	○1つの言葉しか使っていない。 ・糸を支える棒からおもりまでのきよりが 違うから。 ・V字型ふりこは，1往復する時間が糸の 長さで決まるわけではないから。 など	3	○2つの言葉を使ってまとめている。 ・V字型ふりこの1往復する時間は，糸の 長さではなく，糸を支える棒からおもり までのきよりで決まる。	6